

## ■はじめに

「【小平 市民版環境配慮指針】小平流暮らしの工夫」は、市民グループであるエコダイラネットワークが主体となり、家庭・事業所で取り組める環境に優しい暮らし方を実現するためのアイデアをまとめた指針です。この指針は、大人だけではなく子どもでも家庭で実践できるように、イラスト中心でまとめるなど工夫をしました。そこで、この指針の子どもへの普及啓発のために、小平第四小学校の協力を得て、出前授業を実施しました。授業の講師を環境政策課職員が務めるにあたり、小平第四小学校の教員の皆様に事前調整を含め授業の進行など様々なアドバイスをいただきました。また、授業には、エコダイラネットワークのメンバーの他、小平第四小学校の学習支援地域組織であるナラミースタッフの皆さんと協働で授業を進めることができました。

## ■出前授業の概要

【テーマ】「私たちの暮らしとエネルギー」(2 単位)

【目標】環境意識を高め、自ら「地球にやさしい行動」ができる児童の育成

【対象者】小平第四小学校 4 年生 (3 クラス)

【時間割】1 単位目：平成 27 年 11 月 24 日 (火)

(2 時間目 4 年 3 組、3 時間目 4 年 2 組、5 時間目 4 年 1 組)

2 単位目：平成 27 年 11 月 27 日 (金)

(1 時間目 4 年 3 組、3 時間目 4 年 2 組、5 時間目 4 年 1 組)

## ■出前授業の内容

### 1 単位目 昔と今の暮らし方が変わったことで、地球に起こっている変化を知ろう

①事前宿題のワークシートを基に、「そうじ」、「せんたく」、「食事」、「夏暑い時」、「冬寒い時」のそれぞれの場面で、昔と今の生活で使われていたものの違いを子ども達に発表してもらいました。

「私たちの暮らしとエネルギー」		単元名
1. 掃除	2. 洗濯	3. 食事
4. 夏暑い時	5. 冬寒い時	



たとえば、『せんたく』では、昔は、「せんたく板」、「手で洗う」、「石けん」、今は、「せんたく機」、「乾燥機」、「液体洗剤」といった意見を発表してくれました。他に、『夏暑い時』では、昔は、「うちわ」、「せんす」、「ふうりん」、「打ち水」、「ふんどし」、今は、「エアコン」、「せん風機」、「プール」、「キャンプ」といった意見を発表してくれました。この他にも、たくさんの意見を発表してくれました。

②「これは何でしょう？クイズ」にチャレンジ！子ども達に、昔と今の生活で使われていたものを発表してもらった後、スライドや実物を使って、昔使われていた道具についてのクイズをしました。



せんたく板やたらいは、ほとんどの子どもが正解！どのように使っていたか、実演もしてもらいました。蠅帳（はいちょう）といった、少し難しい問題にも積極的に手をあげて「たんす」や「虫かご」など自分の考えを発表してくれました。蠅帳は、食事を一時的に保存するように工夫がされた器具で、蠅などの虫が侵入せず同時に通気性も保つようになっているものです。冷蔵庫が普及するまでは食品を保管するため重要なものであったことなど、クイズを通して昔の道具の工夫などを学びました。

③今は昔と比べて便利な道具が増えています。このような生活の変化によって、地球では地球温暖化という問題が起こっていることを、スライドを見て学習しました。

地球がだんだんと暑くなっている！？

地球で起こっていること②  
北極の水や雪が減っている



地球で起こっていること③  
海の水が増えている



## 2 単位目 地球温暖化を防ぐために、毎日の生活の中で自分ができることを考えよう

①事前宿題のワークシートを基に、グループに分かれて 2100 年頃の地球がどうなってしまうかについて話し合ってもらいました。その後、グループごとに発表してもらいました。

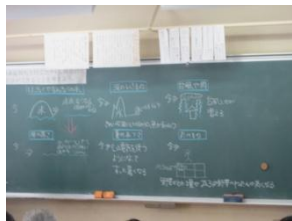
「私たちの暮らしとエネルギー」		年 級 名 前			
このままだと地球温暖化が進んでいってしまうか真夏や真冬はどのくらいか。	いま	これから(2100年ごろ)	いま	これから(2100年ごろ)	
夏は暑いからエアコンは必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	夏は暑いからエアコンは必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いからストーブは必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いからストーブは必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから厚着は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)
冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)	冬は寒いから暖房は必要か。	いま	これから(2100年ごろ)



「2100 年にはみんなが何歳になっているかな？」  
「90 歳!? え〜!!」

「北極や南極の氷はとけて、ホッキョクグマが大変なことになる。」「野菜が取れなくなって、値段が高くなる。」「気温は 40 度くらい。」など、2100 年頃の地球を予想した発表をしてもらいました。

講師から、「海の高さは、最も悪い状況では今より 82 センチ高くなるのが予測されています。」といった説明があり、自分の身長と比べてどの辺りまで高くなるかを確認してもらいました。



②このような地球に起こっている問題、地球温暖化を防ぐために、毎日の生活の中で自分たちができることを、「【小平 市民版環境配慮指針】小平流暮らしの工夫」をヒントにしながら考えてもらいました。そして、「エコ・チャレンジの木」に自分が家で取り組むことを書いてもらいました。

「トイレのふたを閉める」や、「冷蔵庫を開ける回数を減らす」など、さまざまな取組を書いてもらいました。講師から、「みんなが家族のエコリーダーになって、家族みんなで取り組んでください。」と伝えました。



## ■ 出前授業の実施結果を踏まえた今後の進め方

担任の先生、エコダイラネットワークメンバー、ナラミースタッフの意見交換から

- 「昔と今の暮らしの違い」については予想以上の多くの意見を発表してもらうことができました。
- 昔と今を比較し、今は(電気)エネルギーをより多く使っていること知り、このままの将来では、どのようになるかを想像させて環境保全につなげていく流れは子ども達にとって非常に分かりやすいと思いました。
- 昔の道具の実物に対しては、興味を持って見てもらえました。
- 昔から使われている物もあるので、昔と今の線引きが難しかったように感じました。
- 将来の想像において、小学生では限界のあるリアリティーを映像等で感じてもらう工夫はないかと思いました。
- 2100 年頃の地球を想像させて書いてもらいましたが、子ども達に、書かせたい内容が書けるようにある程度誘導する(ヒントを書いておくなど)ようなワークシートの工夫が必要です。
- 子ども達に「エコ・チャレンジの木」に取り組んでもらうことにしたので、その活動を次にどう繋げるかの学習活動を追加した方が良いのではないのでしょうか。  
→ 「エコ・チャレンジの木」が集まった時点で、自分がやれることはやってきたため、次にどのように周りに発信していけば良いかを考える。  
→ エコに関するポスターや地域の方々への取組の発表、校内への啓発のためのエコチャレンジウィークなど子どもが子どもに発信する機会を作る。など

### 今後の進め方

4年生にとって、「地球温暖化」や「二酸化炭素」などは学習前の内容であることから、具体例をあげるなど、子ども達が実感できる伝え方を考える必要があったと思います。

「エコ・チャレンジの木」を育てることで、本出前授業の目標でもある、環境に優しい行動の実践と定着が子ども達に広がっていくことが期待されます。

先生方、エコダイラネットワークメンバー、ナラミースタッフの皆様との意見交換も踏まえ、改善を加えて次回他校で実施したいと考えています。

